

東日本大震災支援情報

2013年2月26日

民間災害支援団体「CIVIC FORCE」 **奨学金×地域発の教育プログラムで若者サポート** **『夢を応援プロジェクト』**

ローソンが創設した「夢を応援基金」を承継

大規模災害支援活動を行う民間の連携機関「公益社団法人 Civic Force(シビックフォース)」(東京都千代田区、代表理事:大西健丞)は、東日本大震災・中長期復興支援事業の一環で、2013年3月から被災した岩手・宮城・福島県の学生を応援する『夢を応援プロジェクト～奨学金×地域発の教育プログラムで若者サポート』を開始します。2011年3月11日に発生した東日本大震災によって経済状況が急変、または悪化し、就学継続が困難な状況にある被災地の高校生が社会人になるまでの最長7年間(2019年3月末まで)、奨学金を給付するとともに、東北の復興に貢献したいと考える若者をサポートする教育プログラム等を実施します。

本事業は、2011年4月にローソンが創設、特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォームが運営してきた「夢を応援基金」(東日本大震災奨学金制度)の事業を引き継ぐものです。すでに同基金の審査により決定した1,097人の奨学生に対し、2011年9月から1人あたり月額3万円の支給を開始しています。奨学金の返還義務はなく、高校や大学・短期大学だけでなく、高等専門学校・専門学校等で専門技術を学ぶことも応援しています。

Civic Forceでは、奨学金の給付に加え、奨学生への教育プログラムを展開します。震災発生直後から被災地に身を置いてきたCivic Forceならではの支援として、「NPOパートナー協働事業」でかかわってきたNPOなどと協力して、今後の復興につながる環境教育や被災地だからこそ学べる防災教育などを含む教育プログラムを提供する予定です。また、被災地の生徒や学校からの意見も取り入れ、現地のニーズに合わせた様々なサポートプログラムを用意する予定です。

Civic Forceは、これからも被災地の学生の皆さんを応援していきます。震災で家計を支える両親などが死亡・行方不明・負傷病気・失業などの状況となったり、住宅に大きな被害を受け

るなど、経済的事由により就学が困難な状況となった学生の皆さんが諦めずに夢に向かっていくことができるよう、経済的不安の緩和とともに、メンタル面や教育面などのサポートに努めてまいります。

「夢を応援基金」(東日本大震災奨学金制度)とは

2011年4月に、東日本大震災の被災した高校生たちを支援するために株式会社ローソンが創設者となって設立された奨学金プログラムで、特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォームが運営主体となって奨学金の給付を行ってきました。2013年3月以降は、今後のサポートプログラムの充実などを考慮し、運営主体がCivic Forceに変更となり、事務局業務の一部をチャリティ・プラットフォームに委託します。

詳細はホームページに掲載しています↓

<http://civic-force.org/emergency/higashinohon/choki/children/index.php>

◆本件に関する問い合わせ先:

公益社団法人 Civic Force 担当:新海

TEL: 03-5213-4930 FAX: 03-5213-4929、Email: pr@civic-force.org

URL: <http://www.civic-force.org/>